

シンフォニー

Vol.31

P2-5

特集 市民アンケート調査結果報告

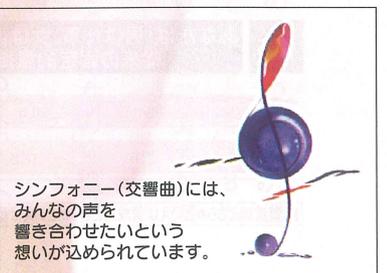
市民の皆さんの
男女共同参画に関する
意識を見てみましょう。

P6-7

第7回男女共同参画
フェスティバルリポート

P8

男女共同参画課からの
お知らせ



市民の皆さんの男女共同参画に関する意識を見てください。

平成20年6～7月にかけて郡山市民を対象に「男女共同参画に関する市民意識調査」が行われ、このたび調査の結果がまとまりました。世界同時不況に突入する直前という時期での調査となったわけですが、厳しい経済情勢の中で意識は前回調査（平成16年）と比べてどのように変化したのか、AさんとBさんがグラフを見ながら話し合っています。まずは身近な家庭での男女の意識の変化について見てみましょう。

Profile



Aさん
男20代。数字好き、分析好き。大学で男女共同参画を学ぶ。



Bさん
男60代。男は男らしく、女は女らしくと言われて育ち、特に疑問も感じず来たが、定年退職後様々な講座を受講する中、最近知った男女共同参画について学習中。

図1 「結婚は個人の自由であるから結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方についてどう思いますか。

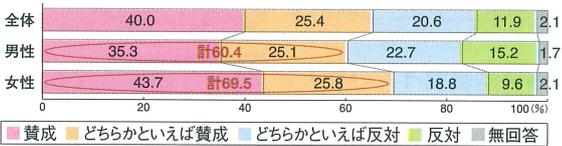


図2 「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方についてどう思いますか。

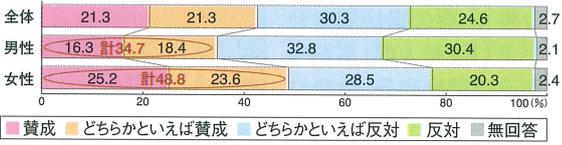


図3 次のような分野での男女の地位が平等だと思いますか。

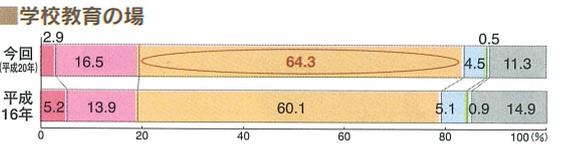
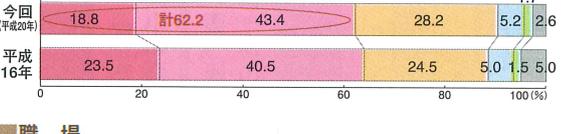
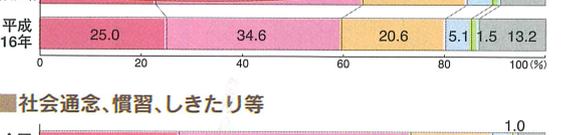


図4 ■ 家庭生活



■ 職場



■ 社会通念、慣習、しきたり等

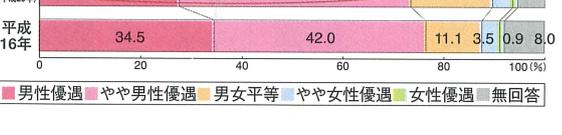
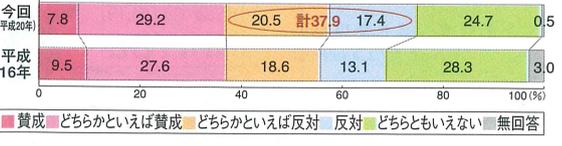


図5 あなたは「男は仕事、女は家庭」という従来の固定的意識についてどう思いますか。



A まずは身近な結婚についての考え方から見てみましょう。「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」に賛成な男性は60・4%なのに対し女性は69・5%と9ポイントの差(図1)。「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」に賛成な男性は34・7%なのに対し女性は48・8%と14・1ポイントもの差(図2)

B 我々が若い頃には、「結婚しなければ一人前とは言えない」とよく上司に言われたし、お見合いが持ち込まれたりしたもんだがねえ。最近はお近所の話を聞いても、娘に「いい人がいないければ無理して結婚しなくてもいいんだよ」なんて言う親が増えているようだね。逆に、息子に「結婚しないでいい」と言う

A 親の話は聞かないなあ。もはや周りが結婚のお膳立てをしてくれる時代ではなくなり、自分から積極的に行動を起こさなければ結婚するのは難しいと言えますね。このアンケートの結果は、一人ひとりが生き方を自由に選べるようになり、選択肢が増えてきたことの現われだと思えますよ。

B 次に、男女の平等意識は、「学校」では64・3%が平等と感じ

があり、意識の違いが大きいです。

図6 次にあげるような家事を誰が分担していますか。

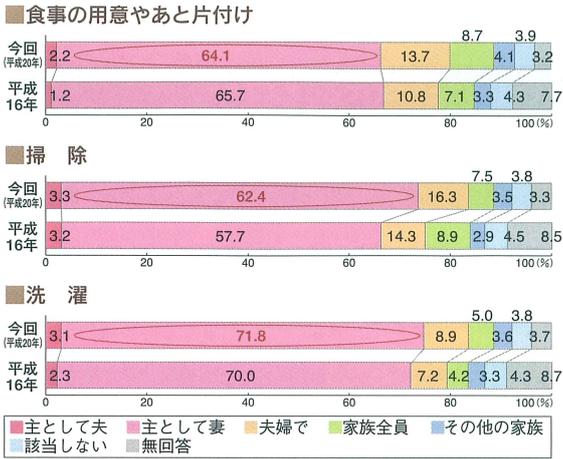


図7 次にあげるような事を最終的に決定するのは主にどなたですか。

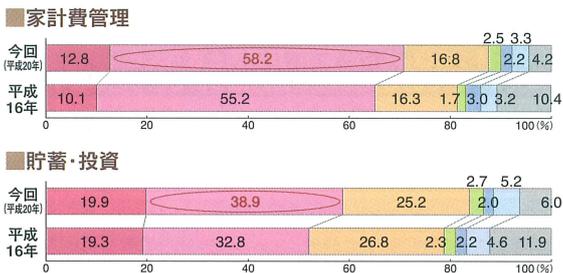


図8 全体的な実権

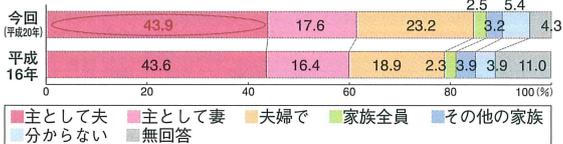


図9 次にあげる家事を誰が分担していますか。(家族の介護や看病)

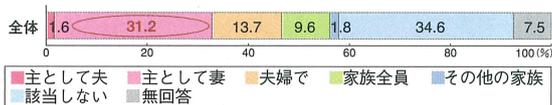
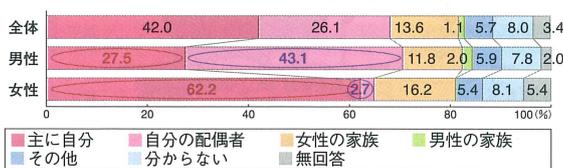


図10 自宅で介護する(している)場合の主な介護者は誰ですか。



「A」そうですね。「男は仕事、女は家庭」という意識も、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせると37・9%で前回と比べ6・2ポイント増えています。(図5) 平等意識は少し浸透し

「B」ところで家庭内の『実権』は夫と妻どちらが握っているの? の長時間労働が増えているそう

「A」最近介護で苦労している家庭も多いようですが? 「B」私の知人も介護では大変苦労しているよ。介護は「主として妻」の割合が31・2%だが(図

ているのに(図3)、「家庭生活」「職場」「社会通念」などでは「男性が優遇」と感じている人が60%強もいる(図4)。まだまだ男が中心の社会と考えている人が多い訳だが、それでも多くの項目で男性が優遇されていると答えた割合は減って、男女平等だとする回答の割合が増えているんだね。

「A」しかし、家庭生活を見ると、家事分担のうち「食事」「掃除」「洗濯」では、「主として妻」の割合がいずれも60〜70%台と高く(図6)、「夫婦で」の割合が前回と比べ少しだけ増えています。男性

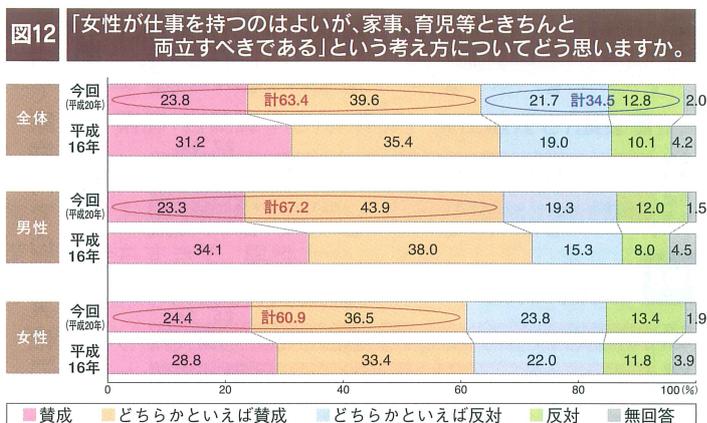
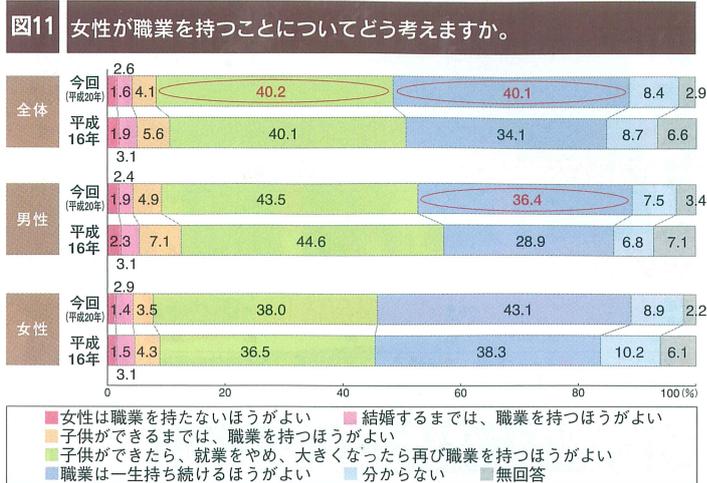
「A」「家計費管理」「貯蓄・投資」などでは「妻」と答えた割合が高く、前回と比べても増えています(図7)。一方「全体的な実権は主として夫」とする回答が43・9%あるので(図8)、大きな決定は夫、毎日の金銭管理は妻任せという傾向は変わっていないですね。



男女の意識に大きな差があることを示しているね。

「A」介護についての男女の意識に違いがありますか? 「B」「主に自分が介護すると思う(している)」と回答した女性の割合が2・7% (対して男性は43・1%となっており(図10)、男性は女性側に介護してもらえらるだろうと考え、一方女性は、女性側が介護することになると考えているね。

「A」介護のあったうちの介護該当家庭だけで見ると53・8%となり、やはり女性の負担が大きいね。 「B」主に自分が介護すると思う(している)」と回答した女性の割合が62・2%に対して男性は27・5%、「主に自分の配偶者が介護すると思う(している)」と回答した女性の割合が2・7% (対して男性は43・1%となっており(図10)、男性は女性側に介護してもらえらるだろうと考え、一方女性は、女性側が介護することになると考えているね。



A この少子高齢化の時代、男女とも介護を担う心構えがないとやっつけていけないと思えますよ。今の若い世代は兄弟姉妹の数が少ないでしょう。これまでのようにに家族だけで全て介護するのは物理的に不可能だと思えます。公的なサービスの利用を併せて考える必要がありますね。

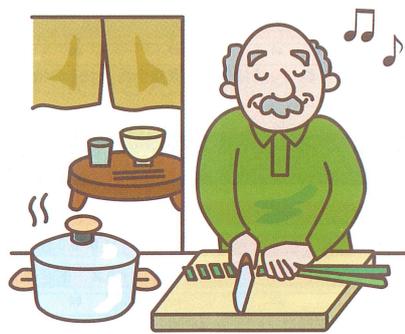
(3) 女性の就業については？

A 女性が仕事をを持つことについての意識の変化はどうですか？

B 「子どもができたら再び就業を持つほうがよい」が40・2%で前回とほぼ同じ、「職業は一生持ち続けるほうがよい」が40・1%で前回と比べ6・0%増えた。しかも男性の回答が36・4%と前回と比べ7・5%も増えており、(図11) 男性の理解がかなり進んできているようだね。

A うーん、経済的な事情も後押ししているのかなあ。ただ条件もついているのでは？

B そうなんだ。「女性が仕事を持つのはよいが、家事、育児等ときちんと両立させるべきである」には「賛成」「どちらかといえば賛成」(図12) が全体で63・4%を占め、男性の割合は67・2%で前回と比べ4・9%減っているよ。しかし女性では60・9%と前回とほぼ同じ比率で、男性の意識が変わり出しているにもかかわらず、女性自身の意識は変わっていないといえるね。



A いや、男性の理想論と、女性の現実的見方の差かもしれませんよ。それでも「両立しなくてもよい」という回答が34・5%あり、男女ともほぼ同じ割合といることは、意識の変化が現れていると見ていいんじゃないでしょうか。

B つまり、「女性が家事育児をきちんとこなせるなら働いてもいい、そうじゃないなら働くべきではない」と思う人の割合が減って「一人で仕事と家事、育児を全て完璧にこなすのは無理だ」と考える人が増えたと考えていいのでは。

A いい分析だね。更に一歩進んで、家族全員で家事を分担して一人だけに負担が集中しないような生活になればいいね。



図13 次のような人権侵害を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか。



図14 セクハラ・ストーカー・DV被害を受けたことについて誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

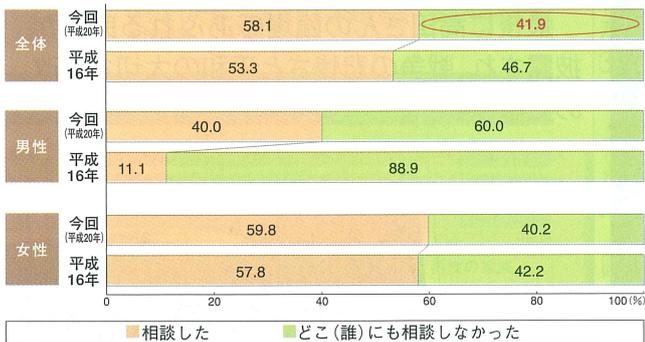
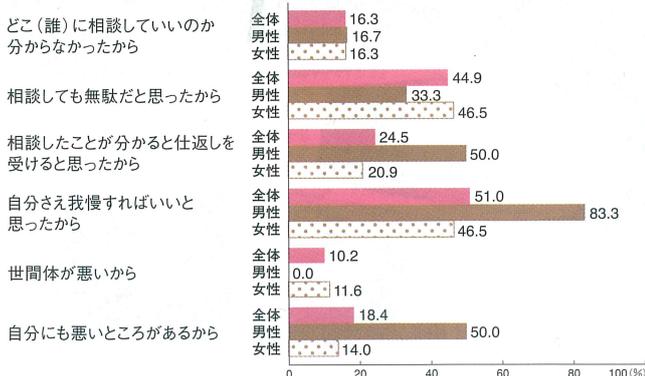


図15 どこ(誰)にも相談しなかったのは、なぜですか。(複数回答)



3 人権について

A 最近セクハラやストーカーなど人権侵害に関する報道が増えていますね。

B 「セクハラ」「ストーカー」「DV(配偶者間暴力)」など各分野で「マスコミ等で聞いたことある」の割合が60〜70%台と高く、関心の高さを裏づけているね(図13)。「自分が受けた」「身近で見聞きした」の割合も女性で前回と比べると増えていて心配だなあ。

一方、「自分が受けた」と回答した人のうち、「どこ(誰)にも相談しなかった」が41・9%もあって(図14)、その理由が、

「自分さえ我慢すればいいと思ったから」「相談しても無駄だと思つたから」が高い割合となっている(図15)。被害が表面に出て来ないことが被害防止の妨げになっていることを理解して、声を上げるべきだと思うね。ただ「相談した」の割合も前回と比べ4・8%増えているから、人権意識も少しずつ高まっているから、

ていると言えるのではないかな。

A 調査結果を全体的に見て、感想はありますか？

B うん、少しずつではあるけど、男女平等の意識が浸透しつつあるのかな、と思うよ。皆さんも、調査結果を見て、自分の考えと違うところ、同じところを比較してみると面白いんじゃないかな。僕もまだまだ勉強しなくちゃ。

調査概要

調査対象	市内在住 20歳以上の男女
標本数	3,000(男女各1,500)
抽出法	住民基本台帳に基づく 層化二段無作為抽出法
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成20年6月26日(木) ~7月14日(月)
調査地区	郡山市全域
回答率	36.6%
回答数	1,099 (男467/女627/無回答5)

(<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>)

※今回の「男女共同参画に関する市民意識調査報告書」は市役所男女共同参画課、郡山市ホームページで御覧いただけます。



ふれあい発表会

- 華翔クラブ
- アレグリアス
- 華の舞
- 麓山ジャズダンスクラブ
- あじさいフォークダンスクラブ
- フルートアンサンブル・ドルチェ



展示

- 団体・クラブ等の活動成果発表



トーク&トーク

テーマ「人として生きるために」

講師：吉武輝子さん(作家)・高田敏江さん(女優)

吉武さんは、ご自身の体験談を交えながら戦前から戦後にかけての女性の生き方をお話くださいました。女性が家庭の中で性別役割分担の意識を持ちすぎて、男性から生活者としての自立の機会を奪い取っているのではないかと、次世代の若者が人として生きるためには、今の大人たちがしっかりと生きる事、人として生きるための基本は「平和」であるということをお話くださいました。

高田さんからは、女優業の厳しさや、朗読の会を設立した時のお話、夫を亡くした時、一人で子どもを育てるためにどうやって食べていくかを考えておくことが大事、といったお話がありました。

最後に高田さんの臨場感あふれる朗読が披露され、戦争の悲惨さと平和の大切さを改めて感じました。



市民自主企画

- 海外派遣者報告会&わいわいトーク
- 自分らしく輝き、心のファッションを
- 郡山の歴史を楽しみましょう
- 目指せ!自分らしい生き方
- 女性のための相談会
- 女性史から男女共同参画を考える
- 更年期講習会



第7回 郡山市 男女共同参画 フェスティバル

2月28日(土)・3月1日(日)
会場:郡山市民文化センター



オープニングセレモニー

子どもたちによる、郡山久留米水天宮船太鼓の息の合った演奏でオープニングの幕が上がりました。続いて行なわれた「郡山市男女共同参画推進事業者」表彰では、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる3事業者を表彰。次に「自分らしく生きる」ための作文コンクール優秀者」表彰では最優秀賞1名、優秀賞7名がそれぞれ表彰され、最優秀賞の斎藤典子さんが作文を発表しました。

- 郡山市男女共同参画推進事業者
 - 株式会社 郡山測量設計社
 - 日本全薬工業 株式会社
 - 福島総合警備保障 株式会社
- 作文コンクール優秀者

最優秀賞	斎藤 典子
優秀賞	小澤 紫乃・渡辺しおり
	笠間 裕子・佐藤 文佳
	和泉 結花・佐久間元宏
	星 貴大(敬称略)

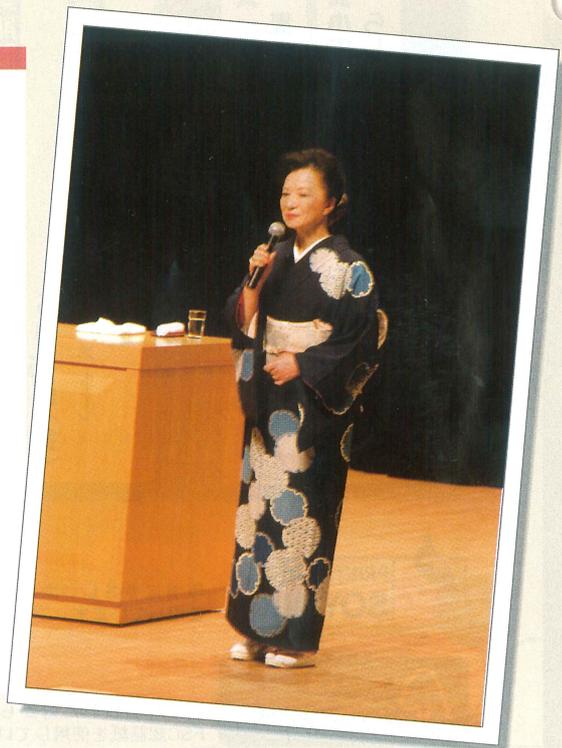


講演会

テーマ「二人三脚で乗り越えた介護の日々
～今日も二人で～」
講師:小山明子さん(女優)

夫である映画監督の大島渚氏が脳卒中で倒れ介護の日々が始まり、更に住み込みのお手伝いさんの入院による看病が加わり、そしてご自身のうつ病治療と、幸せの絶頂から突き落とされた不幸のどん底の生活を、ユーモアを交え会場の笑いを誘いながら淡々と話されました。大変な苦勞を笑いの陰に隠して、今が最高に幸せと言い切るその姿に、人間としての本当の強さと強い夫婦の絆を感じました。

会場の皆さんからは、「ただ驚いた」「女優さんがよく頑張っている」という感嘆の声が聞かれました。



「女性人材リスト」登録者募集!!

あなたの経験・資格等を市政に活かしてみませんか?



郡山市では、市民一人ひとりが性別を問わず自己の個性を生かした能力を十分に発揮するとともに、男女がお互いを認め合い協力して豊かな生活を送ることができる男女共同参画社会の実現を目指しています。

その施策の一つとして、市の審議会・委員会などにおいて女性の視点での意見を取り入れることを目的に、「女性人材リスト」制度を設け、このリストに登録していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、皆様からの登録、情報提供をお待ちしております。

目的	多方面にわたる女性の人材を「女性人材リスト」に登録し、審議会・委員会などの委員の人選にあたって、人材情報を提供することにより、市の政策および方針決定の場への女性の参画を促進することを目的としています。
対象者	次のいずれかに該当する市内に居住又は勤務する20歳以上の女性の方。 ①産業、都市基盤、生活・環境、健康・福祉、教育などの分野に関する専門的知識や技能をお持ちの方 ②市政について上記の分野などに関心があり、審議会等に参加する意欲のある方
登録方法	「人材リスト登録同意書」(第2号様式)に必要な事項を記入のうえ、男女共同参画課に提出してください。 *「人材リスト登録同意書」は市ホームページからダウンロードできます。また、市役所男女共同参画課やさんかくプラザ(男女共同参画センター)、各行政センター、各地区公民館にも備えてあります。(※受付は男女共同参画課で随時行っています。)
「人材リスト」の活用の流れ	登録同意書の提出(男女共同参画課へ直接持参願います) ※自薦・他薦は問いません。 → 登録情報の掲載(個人情報保護されます。) → 各担当課が人材リストの閲覧依頼、閲覧 → 候補者がいた場合、各担当課から直接、登録者へ委員就任への確認依頼をさせていただきます。
その他	登録された方が必ず委員として選定されるものではありませんので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ・申込先

郡山市市民部 男女共同参画課

〒963-8601 郡山市朝日1-23-7 電話:024-924-3351 FAX:024-921-1340
Eメール: danjokyoudou@city.koriyama.fukushima.jp

昨年度最優秀作品

男女共同参画川柳大募集

対象

市内に在住・在勤・在学する方

募集期間

平成21年4月1日(水)～
5月15日(金)

募集方法

ハガキ、FAX、Eメール
または専用応募用紙

※詳しくは、市ホームページへ広報こおりやまを御覧ください。

《一般の部》

妻と肩 組んで歩いて ハーモニー

《小中高校生の部》

らしさって 男女じゃなくて 自分でしょ

「男女共同参画社会」を目指す拠点施設

さんかくプラザ(男女共同参画センター)

TEL 024(924)0900 / FAX 024(924)0904

さんかくプラザでは、学習や交流、情報収集、相談などができます。

利用時間

午前9時～午後9時

休館日

毎月第3日曜日及び年末年始



※お車で来館される場合は、施設内駐車場及び麓山地区公共施設利用者駐車場をご利用ください。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙を使用しています。

平成20年4月より平成23年3月までの間、財団法人郡山市文化・学び振興公社が指定管理者として管理運営することとなりました。土日祝日の貸館受付を始めましたので、これまでと変わらず、お気軽に御利用ください。